

美術

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
9	開 隆 堂	美術
38	光 村	美術 美術 資料
116	日 文	美術 1 美術との出会い 2・3上 学びの実感と深まり 2・3下 学びの探究と未来

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① [共通事項] の指導を充実させるための工夫	造形的な視点の示し方及び具体例
		② 形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫	形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載及び具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 表現と鑑賞の関連を図った学習活動の工夫	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方及び具体例
		④ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫	発想・構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方及び具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫及び具体例
		⑥ 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 題材の配列	題材数及び構成・配列
(オ)	内容の表現・表記	⑧ 作品等についての示し方の工夫	作品等や造形活動の示し方及び具体例
		⑨ デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの扱い及び具体例

【美術】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫
方法	造形的な視点の示し方及び具体例

	造形的な視点についての示し方	具体例
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターの吹き出しに、コメントを示している。 ○ アイデアスケッチの吹き出しに、表現意図とともに示している。 ○ 生徒作品の「作者のことば」に、表現意図とともに示している。 	<p>第2・3学年 「語る彫刻」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターのコメント <ul style="list-style-type: none"> ・表情、姿勢、体つきなどに注目してみよう。 ○ 吹き出し <ul style="list-style-type: none"> ・11月の早朝、池のまわりで犬の散歩をしていたときでした。鳥が羽ばたく音にびっくりして池を見たら、魚を食べていました。きれいな色の鳥で、調べたらカワセミという鳥でした。 ・鳥が羽を広げている様子や、魚を見つけた瞬間の水面の様子を表したいと思いました。 ・カワセミがくちばしを川に突っ込んだ瞬間に、そのまわりに水しぶきが上がるのを強調したいな。 ・何色もの色を重ねることで、水の動きが表せそうだな。 ○ 生徒作品・作者の言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・雨が降った後の様子を再現しました。道路の汚れた感じが出るようにいろいろな色を使って塗りました。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞と表現の活動のはじめや「POINT」に示している。 ○ スケッチや写真の吹き出しに、表現意図とともに示している。 ○ 生徒作品の「作者の言葉」に、表現意図とともに示している。 	<p>第2・3学年 「躍動感を捉える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「鑑賞」 <ul style="list-style-type: none"> ・動きを捉えた作品を鑑賞して、躍動感を表すための工夫について考えてみよう。 ○ 「表現」 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の生き生きとした動きを捉えて、作品に表そう。 ○ 「POINT」 <ul style="list-style-type: none"> ・この一瞬の動きを表すために、どのような工夫がされているだろう。 ○ 動きを捉える <ul style="list-style-type: none"> ・テニス部の後輩がボールを打つ瞬間が、カッコいい。いろいろな角度からスケッチしてみよう。 ○ 形をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・体の重心を意識しながら粘土を付けていこう。 ○ 生徒作品・作者の言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・競技かるたの公式戦に挑む、将来の自分を想像してつくりました。揺れる髪や衣服で、勢いよく札を取った瞬間のスピード感を表現しました。

【美術】

	造形的な視点についての示し方	具体例
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品や写真の吹き出しに、「造形的な視点」を示している。 ○ 生徒作品の「作者の言葉」に、表現意図とともに示している。 ○ 「鑑賞の入り口」に、問いで示している。 ○ 主文の中で、造形的な視点を基に思考することを促す文を示している。 	<p>第2・3学年 上 「しぐさで語る動物たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「造形的な視点」 <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩の特徴、表情やしぐさに着目して効果を考えよう。 ○ 生徒作品・作者の言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・背中を黒色だけでなく、青色や灰色を加えることでより本物らしくしました。 ○ 「鑑賞の入り口」 <ul style="list-style-type: none"> ・その動物らしさはどこから感じるのだろうか。 ○ あなたは動物のどんな姿に興味がありますか。迫力のある動きや可愛らしいしぐさなど、その生き生きとした姿は、私たちにさまざまなイメージをもたらしてくれます。 体の形や色彩、さりげない動き、何かを語りかけてくるような表情など、その動物らしさが伝わるのは、どのような瞬間でしょうか。それぞれの姿から作品のイメージを広げ、材料にも工夫して立体で表しましょう

(注) [共通事項] とは、「A表現」及び「B鑑賞」の学習において共通に必要な資質・能力であり、造形的な視点を豊かにするために必要な知識に関する項目である。表現及び鑑賞の活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果を理解したり、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解したりする中で、造形的な視点を豊かにし、表現及び鑑賞に関する資質・能力を高めることをねらいとしている。

【美術】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
方法	形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載及び具体例

	学年	形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載	具体例
開隆堂	1	○ 巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 文字のデザイン ○ 著作権を知ろう ○ 発想・構想のヒント ○ 鑑賞ってなんだろう ○ 美術館へ行こう ○ 色彩と光 ○ 用具を知って使ってみよう
	2・3	○ 巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 展覧会をつくる ○ 奥行き表現 ○ 美術史の扉 ○ 量感表現 ○ 余白の美 ○ 紙の表現 ○ これってどう撮るの ○ 共に学ぶ美術 ○ 持続可能な未来へ ○ 世界遺産と美術 ○ 日本の伝統色 ○ 美術と私と社会
光村	1	○ 巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 美術館を楽しもう ○ 芸術祭へ行こう ○ 美術鑑賞を楽しむ手がかり
	1・2・3 共通	○ 別冊「美術1資料」に、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ どうやって描く？ ○ 鉛筆で描く ○ 水彩絵の具で描く ○ アクリル絵の具で描く ○ ささまざまな描き方 ○ 版画で表す ○ 文字をデザインする ○ 端末を活用する ○ どんな材料でつくる？ ○ 紙でつくる ○ 粘土でつくる ○ 木でつくる ○ 金属でつくる ○ 石でつくる ○ 写真を撮影する ○ 映像を制作する ○ 発想・構想のために ○ 自然の中の形・色・光 ○ 色の世界に出会う ○ 色の特徴 ○ 色の効果と配色 ○ 日本と世界の伝統色図鑑
	2・3	○ 巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 学習を支える資料一覧 ○ 仏像について知ろう ○ 美術史年表 ○ 日本の伝統工芸 ○ 北と南の民族衣装

【美術】

	学年	形や色彩、材料や用具の 取扱い等に関する記載	具体例
日 文	1	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 火焰型土器 ○ 発想・構想の手立て① ○ 発想・構想の手立て② ○ どんなふうを描きたい？ ○ さまざまな技法で描く ○ 木版画 ○ 水墨画の表現 ○ 文字の基本 ○ 木でつくる ○ 粘土でつくる ○ 色彩の基本・仕組み ○ 美術館へ行こう
	2・3 上	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 岡本太郎 “芸術はみんなのもの” ○ 暮らしに息づくパブリックアート ○ 立体を描く ○ 遠近感を表す ○ 人物をつくる ○ 北斎の大波 ○ 金属でつくる ○ 日本美術と世界の美術の歩み ○ 日本の伝統色 ○ 色彩の特徴を深く知る ○ 写真で表現する
	2・3 下	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ さまざまなアートに触れよう ○ 動画で表現する ○ 絵巻物の世界 ○ 仏像の種類 ○ 美術文化の継承 ○ 日本の世界文化遺産 ○ 受け継ぐ伝統と文化 ○ 世界の工芸品と色彩

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③表現と鑑賞の関連を図った学習活動の工夫
方法	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方及び具体例

	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方	具体例
開隆堂	○ 第1学年の「この教科書で美術を学習するみなさんへ」において、キャラクターの吹き出しで、表現と鑑賞のつながりを示している。	第1学年「教科書の使い方」 ・描いたりつくったりするだけじゃないだね。
	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」を表記し、相互に関連した学習の流れを示している。	第1学年「生き生きとした姿を表す」 ○ 作者のことば ・広島県の宮島で、おぼつかない足取りであるいている子鹿に出会い、この子の生命感を連れて帰りたいと思い、アトリエに帰って制作しました。 ・座りながら物思いにふけている姿を表しました。 ・いろいろなポーズをした人体をつくって、校庭で友達と組み合わせました。 ・一瞬の動きの中のエネルギーを感じてもらうために色も工夫し、さらに躍動感を出すためにクリアファイルを切って目に見えないパワーを表しました。 ○ ①「鑑賞」 動きや対象の特徴に注目して鑑賞し、見方や感じ方を広げよう ②「発想・構想」 針金で人の動きを工夫しながら構想を広げよう ③「知識・技能」 さまざまな材料の特徴を理解して、表し方を工夫しよう 第2・3学年「イメージを形にして」 ○ 作者のことば ・私は鏡に映ったもう一人の私を見ることができます。では、鏡の向こうの私は誰を見ているのでしょうか。鏡の前の私と鏡の向こうの私は、箱立に入れ替わり、見つめ合います。 この作品は、中央にわずかなすき間を開けて並ぶ一対の直方体の木材から彫り出しています。 中央のすき間を鏡に見立て、左右交互にチェーンソーで彫り進めました。 彫り進めていくうちに現れた無数の凹凸や穴は、鏡に映った私であり、鏡に映った私も私自身を見つめ返してきます。作品を見返すことで私自身を見つめ、作品も私を見返してくるのです。 ・不安やプレッシャーに押しつぶされそうなときに、友達や先生に助けてもらって、心が落ち着いた時の気持ちを表しました。 ・黄色は自分の努力が報われたり、目標を達成したりしたときの気持ちで、まわりにへばりついているものはうまくいなくて諦めそうになったときの気持ちです。今までがんばってきたことは必ずどこかでつながっていることを表しました。 ○ 「鑑賞」 抽象的な形で表した作品を鑑賞しよう 「発想・構想」 自分の表現したいイメージを考えて発想しよう 「知識・技能」 自分の表現したいイメージをもとに材料や表現方法を工夫しよう 「鑑賞」 パブリック・アートやインスタレーションの作品を鑑賞しよう

【美術】

	表現と鑑賞の関連を図った 学習活動の示し方	具体例
光 村	○ 第1学年の「教科書を活用しよう」において、矢印で表現と鑑賞の学習活動のつながりを示している。	第1学年「教科書を活用しよう」 「鑑賞」 ・題材の始めに鑑賞の問いかけを示している。問いを手がかりに作品をよく見てみよう。 ↓ 「表現（発想・構想）」 ・発想を広げ、構想を練るための手立てを示している。
	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 「表現」と「鑑賞」のアイコンを表記し、相互に関連した学習の流れを示している。	第1学年「材料に命を吹き込む」 ○ 作者の言葉 ・どんな動物も顔からつくり始めます。顔ができると表情が生まれ、性別や性格が感じられるような気がして、その顔に合わせて材料を選び、体の動きや形、色を考えていきます。 ・学校の周辺で見つけた材料でつくりました。リスがどんぐりをくわえている感じが出るように工夫しました。 ・先の割れた流木が亀の頭のように見えたので、亀の形をつくりました。歌っているような口がポイントです。 ・幸運をもたらす器の鳥です。材料には金属を使って、統一感を出しました。羽をきれいに神秘的に見せるために、形や色を工夫しました。 ○ ①「鑑賞」 ・材料の特徴をどのように生かしているだろう。それぞれの作品の工夫を見つけてみよう。 ②「表現（発想・構想）」 ・材料の特徴を生かし、組み合わせて作品をつくろう。 第2・3学年「空想の世界へようこそ」 ○ 作者の言葉 ・2001年9月11日にアメリカで起こった同時多発テロ事件の翌年の作品です。ニューヨークの街は美しく、劇場やレストランはにぎわっているけれど、人々は精神的に何か怯えているような印象を受けてこの絵を描きました。 ・世界から感染症が消えてみんなが楽しく生活する風景を、私の好きなフクロウに重ねて描きました。 ・大人になると失われてしまう純粋でファンタジーな心を、人一倍大事にしてきたのに、中学校に入ってからそれが少しずつ失われてきました。下の女の子は、そのかすかな変化に悲しみ絶望しながら、ココロの声を糸電話を通じて聞いています。 ○ 「鑑賞」 ・これらの作品を、作者の思いを想像しながら鑑賞してみよう 「表現（発想・構想）」 ・自分の好きなもの、身近なものから想像を膨らませ、空想の世界を表そう

【美術】

	表現と鑑賞の関連を図った 学習活動の示し方	具体例
日 文	<p>○ 第1学年の「ようこそ美術の学びへ」において、表現と鑑賞を関連させた学習の流れの例を示している。</p>	<p>第1学年「表現と鑑賞を組み合わせる学びを深めよう」</p> <p>○ 「鑑賞」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考える その人らしさや心情はどこから感じられるのだろうか。 「表現」 ・生かす 描きたい人のその人らしさやイメージを表そう 「鑑賞」 ・確かめる 完成作品からお互いの工夫を読み取る
	<p>○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。</p> <p>○ 題材名の下に<鑑賞の入り口>を示している。</p>	<p>第1学年「材料に命を吹き込む」</p> <p>○ 作者の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き缶を見た時に、何かの殻っぽいと思ひひらめきました。 ・私の作品を見てくださった方が、身の回りから材料を探してくれてくれます。自分では選ばない材料は、新たな発想を広げてくれます。作品を通じて人とのつながりも感じます。 ・電話ケーブルを羊毛のように、受話器を足のように使用できることに気づいた時にテレフォンシープは完成したのです。 <p>○ <鑑賞の入り口></p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の特徴が、生き物にどのように生かされているだろうか。 <p>第2・3学年 上「イメージを形にすると」</p> <p>○ 作者の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活がどんどん大変になっていく様子を表現しました。高校はわからないので粘土はつけていません。 ・人それぞれが全く違う感情や個性を持っていることを、たくさん色で表しました。ひも状の羊毛一つ一つが他のものことからみ合っているのは、人と人が複雑につながり合っていることを表現しています。 ・ダンスの発表会で、みんなで思いっきり踊れた楽しい気持ちを明るい色で表現しました。 <p>○ <鑑賞の入り口></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の感覚やイメージが、どのように表現されているだろうか。 <p>第2・3学年 下「空想の中の不思議な世界」</p> <p>○ 作者の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨のどんよりとした空気の中で筆を一気に動かすと、そこが光輝く花畑となります。嫌なことがあっても工夫することで、楽しい美しい世界に変わるという思いを表現しました。 ・授業中の「甘いパンが食べたい」という気持ちと「寝たい」という気持ちを表しました。アップルパイを本物っぽくするために、粘土を編んでつくりました。 ・「外国のすてきな家に住みたい」という幼少期のころの夢を想像しながら描きました。時々よみがえる無邪気な思い出たちも忘れたくないという願いも込めました。 <p>○ <鑑賞の入り口></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の不思議な印象は、どこからもたらされているのだろうか。

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫
方法	発想・構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方及び具体例

言語活動の示し方及び具体例		
開 隆 堂	発 想 ・ 構 想 の 場 面	<p>第1学年 巻末資料「学びの資料」</p> <p>○ 「発想・構想のヒント」のページを設け、デザイナーが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示している。</p> <p>「制作するときの手掛かりにしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観察する」「話し合う」「調べる」「試す」「考えを整理する」 <p>第2・3学年「生活を楽しく心地よく」</p> <p>○ 発想・構想に向けて、ワークシートやアイデアスケッチ、生徒作品や作者の言葉を示している。</p> <p>「ワークシート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人の特徴や趣味から思いつくことを書き出そう。 ・スケッチをして部屋の雰囲気を具体的に考えよう。 <p>「作者のことば」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人の特徴に合わせて暖かくて柔らかい雰囲気にしました。 ・本がたくさんある部屋にあこがれて階段や机などの形にこだわりました。本の日焼けを防ぐために窓はなくし、どこにどんな本があると手に取りやすいかを考えながらデザインしました。 ・宇宙で暮らす人のための部屋を考えました。いつでも外に出られるように宇宙服を置き、窓から地球や星が良く見えるようにデザインしました。
	鑑 賞 の 場 面	<p>第1学年 巻末資料「鑑賞ってなんだろう」</p> <p>○ 巻末に「鑑賞ってなんだろう」として、鑑賞活動の流れやポイント等について示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品と向き合おう ・自分なりの根拠をもって意味づけよう ・様々な視点から見よう ・見方や考え方はたくさんある だから伝え合おう <p>第2・3学年「目にとまる 心にとまる」</p> <p>○ キャラクターの吹き出しに、話し合いを促す記述を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの作品がどうして目や心にとまるのかを友達と話し合ってみよう。

言語活動の示し方及び具体例	
光 村	発想・構想の場面
	<p>美術1 資料 つくってみよう見よう</p> <p>○ 「発想・構想のために」のページを設け、生徒が学習の中で発想・構想する方法を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広げる（マッピング、9マスの表） ・焦点化する（ピラミッドチャート） ・比べる（ベン図） ・多面的に見る（レーダーチャート） <hr/> <p>第2・3学年「地域の魅力を表すパッケージ」</p> <p>○ 発想・構想に向けて、アイデアスケッチ、生徒作品や作者の言葉を示している。</p> <p>「作者の言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪城は桜で有名ですが、夏、秋、冬もそれぞれ魅力があることを伝えるため、箱の側面を使って四季を表しました。 ・誰でも手に取りやすいようにシンプルにしました。外国から来た観光客向けに、商品名は英語でも表記し、上面には、はんこ風に「秋田県産枝豆」と描いてアクセントにしました。 ・タンチョウが集まる釧路湿原の緑と、夕日の輝きをイメージして色を決めました。タンチョウらしさを表しつつ、持ちやすい形にするために、羽の部分を工夫しました。
	鑑賞の場面
	<p>第1学年 巻末資料「美術鑑賞を楽しむ手がかり」</p> <p>○ 巻末資料に、鑑賞活動の流れやポイント等について示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①じっくり見る ②自分なりに考える ③調べる ④まとめる <p>○ 国語科とのつながりとして、「美術鑑賞を広げる言葉」を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[印象を表す言葉] [気持ちを表す言葉] [美術でよく使われる言葉] <hr/> <p>第2・3学年 「形や材料で比べる」</p> <p>○ 題材名の下は、話し合いを促す記述を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や材料、大きさ、重さなどに着目して、誰がどんな場面で使うカップなのか話し合ってみよう。

		言語活動の示し方及び具体例
日 文	発想・構想の場面	<p>第1学年 巻末資料「学びを支える資料」</p> <p>○ 「発想・構想の手立て」のページを設け、アーティストが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発想・構想の手立て①」アーティストはどうやって作品をつくるんだろう？ 「きっかけを探す」「発想する」「構想する」 ・「発想・構想の手立て②」みんなはどうやって作品をつくる？ 「鑑賞する～発想のきっかけをさがそう～」 「発想する～イメージをとらえて広げよう～」 「構想する～どうつくるか考えよう～」 「制作する～考えを形にしよう～」 「発表・展示する」 <hr/> <p>第2・3学年 下「魅力を伝えるパッケージ」</p> <p>○ 発想・構想に向けて、「表現のヒント」、アイデアスケッチ、生徒作品や作者の言葉、「造形的な視点」を示している。</p> <p>「表現のヒント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パッケージを調べる ・企画書を作成する ・イメージや構想を発表し合う 「作者の言葉」 ・和菓子和洋菓子を同時に楽しめるお菓子をつくろうと思い、パッケージは和と洋の違いを対比させる色やデザインを考えて表現しました。 「造形的な視点」 ・受け取る人の気持ちを考えて形や色彩をイメージしよう。
	鑑賞の場面	<p>第1学年「鑑賞との出会い」</p> <p>○ 巻頭に「オリエンテーション」として、鑑賞活動の対象やポイント等について示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象から感じ取った「美しいな」「いいな」という思いを大切に、感じたことを言葉にして、友だちと意見を交わしながら見方や感じ方を豊かに広げ、深めていきましょう。 ・友だちと作品について話してみよう。 <hr/> <p>第2・3学年 下「住み続けられる町づくり」</p> <p>○ 題材名の下の＜鑑賞の入り口＞に問いを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場所から安らぎや快適さが感じられるのは、なぜだろうか。

【美術】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫及び具体例

	学年		興味・関心を高めるための工夫	具体例
開隆堂	1	表現	○ 生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真や吹き出しで示したり、生徒作品と作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。	「スケッチブックから広がる」 ○ 吹き出し ・描いたスケッチブックを見返すと、その時のことを思い出したり、新しい発見をしたりすることができるね。 ○ 「作者のことば」 ・思い出の場所や、愛着のあるものなどのスケッチを集めたマイ・スケッチブックをつくって、みんなで見せ合いました。 ・ランドセルを開閉させたり、見る角度や方向を変えたりすることで、印象が変わることに注目しながら描きました。 ・家で一緒に暮らしている猫の姿を描くことを毎日の習慣にしています。 ・ガードレールの外に見える空の色がとてもきれいだったので、絵の具を混ぜて空の色をつくり、スケッチに残しました。
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を拡大したり、原寸大の図版で示したりしている。	・「ナポリの漁師の少年」 ジャン＝バティスト・カルポー ・「いのちの木」 富田菜摘 ・「風神雷神図屏風」 俵屋宗達 ・「樹花鳥獣図屏風」 伊藤若冲 (原寸大) ・「ラグビー日本代表ユニフォーム」 ・「トンボの精」 ルネ・ラリック (原寸大) ・「十二の鷹」 鈴木長吉 (原寸大) ・「白磁籠目菊花貼付壺」 (原寸大)
	2・3	表現	○ 生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。	「ひと目で伝える表示」 ○ 吹き出し ・この曲がり角で、友達とぶつかりそうになることがあるんだ。 ・再現した様子を写真に撮って参考にしよう。 ○ 「作者のことば」 ・一人一人が自然環境を大切に思い、守ろうとしてほしいという願いを込めてデザインしました。シャボン玉のようなものに葉が入っているイメージで、自然のはかなさを表しました。 ・災害が起こった際には中学校が避難所になります。避難所運営のための訓練に参加した私たちは、実際の避難所ではどのような役割が必要となるのか、どのように役割を示したら分かりやすいのかを考えながらピクトグラムをデザインしました。
	2・3	鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を拡大したり原寸大の図版で示したりしている。	・展覧会の様子「荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋」 荒木飛呂彦 ・「燕子花図屏風」 尾形光琳 ・「興亡史」 池田学 (原寸大) ・「松林図屏風」 長谷川等伯 ・「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏会」 オーギュスト・ルノワール ・「アルジャントウイユの橋」 クロード・モネ (原寸大) ・「赤い浮標」 ポール・シニャック (原寸大) ・「鳥獣人物戯画」 (原寸大) ・「最後の晚餐」 レオナルド・ダ・ヴィンチ ・「ピエタ」 ミケランジェロ・ブオナローティ ・「モナ・リザ」 レオナルド・ダ・ヴィンチ (原寸大) ・「双影体Ⅱ」 戸谷茂雄 ・「立体曼荼羅」 ・モザイクタイル ・「螺鈿紫檀五絃琵琶」 (原寸大) ・東京スカイツリー内のエレベーターにある江戸切子を使った装飾 ・加賀友禅 ・美術史の扉 ・「誕生」 池田学 ・「手をたずさえる船」 イリヤ&エミリア・カバコフ

【美術】

	学年		興味・関心を高めるための工夫	具体例
光 村	1	表現	○ 生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示したり、吹き出しや作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。	「見つめ、感じ取り、描く」 ○ 吹き出し ・小学校の入学式で履いた靴。うれしかったことを思い出して描こう。 ○ 作者の言葉 ・実際は黒いエナメル靴ですが、入学式に集まってくれた祖父母や両親の笑顔を思い出しながら、温かみのある色で描きました。 ・メダルの立体感や色合いを表現するのが難しかったけれど、何度も実物を観察して、影の部分と光っている部分を表しました。 ・春の暖かさを表すため、淡い色を塗り重ねました。花の一つ一つがはっきり見えるように、細かいところまで描きました。
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を原寸大の図版で示している。	・「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」オーギュスト・ルノワール ・「風神・雷神像」 ・「風神雷神図屏風」 ・「火焰型土器 No. 1」 ・「クオ・ヴァディス」北脇昇
	2・3	表現	○ 生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真や吹き出し等で示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。	「わかりやすく情報を伝える」 校内に掲示するピクトグラム ○ 吹き出し ・廊下の曲がり角での衝突が多いな。危険であることを伝えるために、ぶつかる瞬間を表してみよう。 ○ 作者の言葉 ・ひと目で危険であることが伝わるよう、注意を引く黄色と黒を用いて制作した。衝突の起こりやすい曲がり角に掲示した。
	2・3	鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、紙質とページの大きさを変えたりして示している。	・「バルナツソスへ」パウル・クレー（原寸大） ・「最後の晚餐」レオナルド・ダ・ヴィンチ ・「明日の神話」岡本太郎 ・「日本の絵画を楽しむ 五つのキーワード」 ・「鳥獣人物戯画」（原寸大） ・「松林図屏風」長谷川等伯「燕子花図屏風」尾形光琳 ・「富嶽三十六景」葛飾北斎（原寸大） ・「星月夜」フィンセント・ファン・ゴッホ ・「ゲルニカ」パブロ・ピカソ ・「阿修羅像」（原寸大）

【美術】

	学年		興味・関心を高めるための工夫	具体例
日 文	1	表現	○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、表現のヒントや生徒の活動の様子を写真で示したり、作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。	「見つめて、感じて、描いて」 ○ 「表現のヒント」 ・観察の仕方をくふうしてみよう ○ 「作者の言葉」 ・光のあたり具合で変化する葉の色みを、いろいろな色を使って表しました。 ・いつも使っているホチキスの形が独特だと思ったので、描いてみました。 ・つやつやとおいしそうなきらぼを描いてみました。張りのある線で実の丸さを表し、色は光が透けるようなイメージで描いています。 ・金属のきらきら光っているところに魅力を感じたので、それが見た人に伝わるように表現しました。
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載したり、折って立てられるようにしたり、作品の一部を原寸大の図版で示したりしている。	・「グランド・ジャット島の日曜日の午後」 ジョルジュ・スーラ (原寸大) ・「風神雷神図屏風」 俵屋宗達 ・「唐獅子図屏風」 狩野永徳 ・「ラスコー洞窟壁画」 ・「火焰型土器」 (原寸大)
	2・3 上・下	表現	○ 生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、表現のヒントを示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。	「ひと目で伝わるみんなのデザイン」 ○ 「表現のヒント」 ・行為から発想してみよう ○ 「作者の言葉」 ・美術室の場所がみんなに分かるようなものを考えて、3色のパレットと絵筆を描きました。
		鑑賞	○ 作品全体を折り曲げの大型図版で掲載し、作品の全体を原寸大の図版で示している。	・「神奈川沖浪裏」 葛飾北斎 (原寸大) ・「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」 東洲斎写楽 ・「ポッピンを吹く娘」 喜多川歌麿 ・「Shadows travelling on the sea of the day」 オラファー・エリアソン ・「誕生」 池田学 (原寸大) ・「ゲルニカ」 パブロ・ピカソ ・「鳥獣人物戯画」

【美術】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫
方法	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例

	学年	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
開隆堂	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活の中の美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 「デザインや工芸など」のはじめに、特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 ○ SDGsに関する造形的な取組や作品を紹介するマークを設け、生活の中の美術の働きを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「廃材に命を吹き込む」 ・「静岡市プラモデル化計画ロゴマーク」 ・豊かな森を育成する ・「受け継がれていく文化財」
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活や社会とのつながりや美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ SDGsに関する造形的な取組や作品を紹介するマークを設け、生活や社会の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・受け継がれる伝統の技法 ・気候変動を食い止める手 ・言語の壁を超える絵文字 ・おいしさと安全をすべての人に ・みんなの活動を作品へ ・鉄塔の骨組みを生かして ・木のぬくもりを感じるスタジアム ・竹害を竹財に ・捨てずに資源として再利用する ・持続可能な未来へ
光村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活の中の美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 「デザインや工芸など」のはじめに特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインや工芸の世界」 ○ SDGsの17の目標との関連を示すマークを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs12「材料に命を吹き込む」 ・SDGs11「印象に残るロゴマーク」 ・SDGs15「木と親しむ暮らし」
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 「デザインや工芸など」のはじめに特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしの中のデザイン・工芸」 ○ オリエンテーション「私たちに問かける美術」において、SDGsのアイコンと共に作品等の写真を掲載している。 ○ SDGsの17の目標との関連を示すマークを設け、生活や社会の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs11、13「環境と共に生きる彫刻」 ・SDGs16「「ゲルニカ」を鑑賞しよう」 ・SDGs4、5、6、7、10、13、14、16「メッセージを伝える」 ・SDGs10、11「分かりやすく情報を伝える」 ・SDGs3、11「防災のデザイン」 ・SDGs8「地域の魅力を表すパッケージ」 ・SDGs3、8、9、11「憩いの場をつくる」

【美術】

	学年	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
日 文	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活の中の美術について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ デザインや工芸等の題材のはじめに特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインや工芸との出会い」 ○ 内容と関連するSDGsのゴールを示すマークを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・14海の豊かさを守ろう、15陸の豊かさも守ろう「材料に命を吹き込む」
	2・3 上 2・3 下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 内容と関連するSDGsのゴールを示すマークを設け、生活や社会の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・16平和と公正をすべての人に「その1枚が心を動かす」 ・3すべての人に健康と福祉を「使う人の立場で考える」 ・8働きがいも経済成長も、11住み続けられるまちづくりを「デザインの力でできること」 ・12つくる責任 つかう責任「魅力を伝えるパッケージ」 ・8働きがいも経済成長も、14海の豊かさを守ろう、15陸の豊かさも守ろう「デザインで地域を豊かに」 ・11住み続けられるまちづくりを、15陸の豊かさも守ろう「住み続けられるまちづくり」

【美術】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦題材の配列
方法	題材数及び構成・配列

	学年	題材数				題材数 合計	構成・配列
		絵や彫刻など		デザインや工芸 など			
		表現及 び鑑賞	鑑賞	表現及 び鑑賞	鑑賞		
開 隆 堂	1	5	1	4	1	11	○ 題材等を分野等に分けて 配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学びの資料」
	2・3	8	5	7	2	22	
光 村	1	8	3	5	3	19	○ 題材等を分野等に分けて 配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」 ※美術1に別冊で「資料 つくってみよう 見てみ よう」
	2・3	7	7	5	5	24	
日 文	1	7	3	6	2	18	○ 題材等を分野等に分けて 配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」
	2・3 上	6	3	7	1	17	
	2・3 下	5	4	5	1	15	

【美術】

観点	(才) 内容の表現・表記
視点	⑧作品等についての示し方の工夫
方法	作品等や造形活動の示し方及び具体例

作品等や造形活動の示し方及び具体例	
開 隆 堂	<p>第1学年「イメージを伝える形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ロゴタイプ ・シンボルマーク ・ロゴマーク ○ 作品とともに作者の言葉や表現意図を示している。 ○ デザインと社会のつながりを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・文字意味やイメージを伝える絵文字を考えよう ・身のまわりにあるロゴタイプの表現を楽しもう
光 村	<p>第1学年「印象に残るロゴマーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ロゴマーク ○ 作品と共に作者の言葉や表現意図を示している。 ○ デザインと社会のつながりを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容からイメージを広げ、見る人の印象に残るロゴマークをつくろう。 ・これらは、美術館や博物館のロゴマークだ。それぞれ、何をもとにデザインされているのか、考えてみよう。
日 文	<p>第1学年「形や色で伝えるシンボルマーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルマーク ・ロゴマーク ○ 作品と共に作者の言葉や表現意図を示している。 ○ デザインと社会のつながりを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分や身近なもののマークを考えよう。 ・伝えたいイメージは、マークにどのように生かされているだろうか。

【美術】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑨デジタルコンテンツの活用
方法	デジタルコンテンツの扱い及び具体例

	デジタルコンテンツの扱い	具体例
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の下の「CONTENTS」に二次元コードを示している。 ○ 巻末資料の一部に、二次元コードを示している。 	第1学年「木版画の面白さ」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「CONTENTS」 <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・木版画の技法 ・生徒作品 ・鑑賞シート ・振り返りシート
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材において、題材名の横に二次元コードで示している。 ○ 美術1の表現の各題材において、見開きページ右上部に、別冊「美術1資料」の二次元コードの関連ページを示している。 ○ 美術2・3の表現の各題材において、見開きページ右上部に、巻末資料「学習を支える資料一覧」の二次元コードの関連ページを示している。 	第1学年「版の表現を味わう」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の生徒作品を見てみよう。 ○ 「資料」p. 8～9「版画で表す」 ○ 「学習を支える資料一覧」 <ul style="list-style-type: none"> ・描く ・つくる ・色の世界 ・発想・構想
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材において、「学びのはじめに」に二次元コードを示している。 ○ 「表現のヒント」等に二次元コードを示している。 ○ 巻末資料「学習を支える資料」に、二次元コードを示している。 	第1学年「刷って楽しむ版画の世界」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学びのはじめに ○ 版表現の種類について <ul style="list-style-type: none"> ・資料を見よう ○ 木版画 <ul style="list-style-type: none"> ・技法を見よう